

令和4年12月

費目別指数変化率寄与度

分類	指標、上昇率 ※2	指標	対前月 上昇率(%)	寄与度 ※1	対前年同月 上昇率(%)	寄与度
総 合	10000	104.2	0.0		4.1	
食 料	2583	108.3	▲ 0.3	▲ 0.07	6.5	1.68
(生鮮食品を除く食料)	2221	108.6	0.1		7.1	
住 居	1947	101.7	0.1	0.02	1.1	0.21
光 熱 ・ 水 道	683	123.9	1.4	0.09	16.5	1.13
家 具 ・ 家 事 用 品	396	111.1	▲ 0.3	▲ 0.01	12.5	0.49
被 服 及 び 履 物	382	104.2	▲ 1.5	▲ 0.05	2.0	0.08
保 健 医 療	488	100.7	▲ 0.2	▲ 0.01	0.9	0.04
交 通 ・ 通 信	1605	94.0	0.5	0.08	1.5	0.24
教 育	342	102.5	0.0	0.00	0.8	0.03
教 養 娯 楽	865	102.1	▲ 0.2	▲ 0.02	0.7	0.06
諸 雜 費	710	101.6	▲ 0.1	▲ 0.01	0.1	0.01
生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	9639	104.1	0.1		4.1	
持家の帰属家賃を除く総合	8750	104.7	0.0		4.6	
生 鮮 食 品 及 び エネルギーを除く総合	8918	102.1	0.0		3.2	
エ ネ ル ギ 一	721	128.7	1.7		14.1	

【注意】

※1 寄与度とは、物価全体の動きに対して各項目がどの程度影響しているかを表す数字であり、以下の計算式によって算出されます。

$$\text{項目Aの寄与度} = \frac{\text{当期の項目Aの指標} - \text{前期の項目Aの指標}}{\text{前期の総合指標}} \times \frac{\text{項目Aのウエイト}}{\text{総合のウエイト}} \times 100$$

※2 ウエイトとは、家計の消費支出全体に占める支出金額の割合のことです。

総務省の家計調査の結果をもとに、都道府県庁所在市ごとに算出されています（5年に1回改定されます）。

ウエイトの数値が高いほど総合指標への影響が大きいことを表します。本表の数値は岡山市におけるウエイトです。

※3 変化率及び寄与度は、端数処理前の指標値を用いて計算しているため、公表された指標値を用いて計算した値とは一致しない場合があります。